



北緯40度 彫刻とホッケーのまち

いわてまち

2008年3月1日
No.585
3

んめえなあ…

んだあ…

主な記事

◆トピックス 「未来への飛躍」 ほか

2月16、17日の両日開催された「いわて北緯40度まんぶくそばフェスタ」の会場で白い湯気には
包まれながらあつあつの名物手打ちそばを食べる来場者。あまりのおいしさに思わず顔をほ
ころばせました（2月17日、岩手広域交流センター・プラザあい。関連記事は9、10ページ）



祝 12億円

新春季農業協同組合・東部農業経済センター
平成21年度・販売達成目標額

日本有数の野菜総合産地へのさきがけ

新岩手農業協同組合・東部営農経済センター
平成21年度・販売達成目標額

わずか1力年で

達成

間に、前年の百三十七万ケースを大きく上回る百五十六万ケースを出荷。つづか一力年で坂堺目

組合東部農業經濟センター管内（岩手町、葛巻町、盛岡市玉山区）の平成十九年度の販売額が、前年度をさらに二億円上回る十二億六千萬円に達しました。同センター管内の「いわて春みどり」生産者が構成する東部地域春みどり専門部会（福島昭太郎部会長）は今年度十二億円を販売目標に三ヵ年計画を策定し、生産・販売をスタート。安全と安心を求める消費者の国産野菜に対する期待や、これまでの販売実績に裏打ちされた信用の高まりなどを受け順調に販売額が伸び、昨年七月から十一月の

町 特産キヤベツ「いわて春みどり」は、やわらかな葉肉とみずみずしい濃い緑色が特長で、昭和五十年代に町内の一部の生産者がその魅力に着目。市場に投入したところ好評を博したことから、品質に優れる町産野菜の全国進出のさきがけとなる全国ブランドに育成しようとした町内の生産者と旧岩手町農業協同組合が連携して昭和五十九年から戦略的に生産・出荷を行ってきました。長年にわたる生産者のたゆまぬ努力と熱意、関係機関の強力な連携どちら密な戦略により、これまで順調に栽培面

積と販売額を拡大した結果、昨年度、関係者の長年の悲願だつた販売額十億円を初めて突破しました。

あることからも、「いわて春みどり」が今や、名実ともに岩手を代表する「ブランド」に成長しつつあることがうかがえます。

十七日には、「JA新いわて東部地域「いわて春みどり」百五十万ケース・十二億円販売達成並びに生産拡大推進大会」が盛大に開催され、大勢の生産者と関係者が集結。さらなる販売拡大を決意し計画の見直しに乗り出すなど、今後、勢いに乗る「いわて春みどり」を核として、町産農産物の一層の販売拡大や、絹光分野など他分野への相乗効果が大いに期待されます。

仲間と結束し産地づくりに全力を挙げる



「いわて春みどり」生産者による
東部地域春みどり専門部会会員
たかむらりょういち
高村亮一さん

私は今年度、「いわて春みどり」の需要の高まりを受けて、昨年度から約36%の増産を行いました。私たち生産者にとって「信用」は第一。今日の市場では「生産者の顔が見える」ことが大きな価値を持ち、一人ひとりの経営姿勢や力量が今まで以上に問われています。私たちは皆、そのことに大きなやりがいを感じています。「産地」は生産者が皆で力を合わせて初めてできるもの。先輩方に学びながら仲間とともに結束し、この度の結果を大きな励みにして、これからも自信を持って自分たちの作った野菜を全国の消費者に届けていきたいと決意を新たにしています。

信用と計画生産を堅持して躍進を支える



新岩手農業協同組合
東部営農経済センター
ふくしのりみ
福士範美 センター長

当センターはこれまで、管内の生産者と密に連携し、常に戦略性を持って生産技術や品質の向上、農産物の育成、計画的な出荷などに取り組んできました。「いわて春みどり」の躍進は、それらの取り組みが大きく実を結んだものであり、無上の喜びを感じています。新興産地が全国に名乗りを上げていくためには、自分たちが持つ条件を最大限に生かした戦略性のある先進的な取り組みが不可欠。今後は、築き上げた信用の堅持と一層の計画生産に努め、「いわて春みどり」を核にした管内農産物全般の販売拡大と、新たなブランドの育成を図っていきたいと考えています。

好機を生かしさらなる市場拡大をねらう



農産物の全国への販売と流通を担う
全國農業協同組合連合会岩手県本部
園芸部 産地開発課
こ ざ さ し げ き
古坐茂樹 課長代理

当会は、出荷された農産物の全国への販売、流通などを担っていますが、「いわて春みどり」に対する市場や消費者の評価と信用は非常に高く、それを裏付けるように、販売先との契約形態も、昨年度は約 55% だった事前取引（アドバンス）を定めた値格で一定量の供給を事前に約束する取引）の比率が、今年度は約 66% に伸長。このことは、安心できる農産物を、安定・継続して責任を持って供給できる「ブランド」として広く認知されてきた一つの証です。今後は、この好機を生かして顧客と販路の一層の拡大と農家所得の向上、ブランドの浸透に努めていきたいと考えています。



武修行 海外へ 黄金の若獅子6人

韓国・香港



選手たちを激励する民部田幾夫町長

将 来の日本ホッケー界を担う選手の育成のため全国の有望選手を集めて海外遠征を行い、国際競技力の向上を図ろうと日本ホッケー協会が主催して行う平成十九年度のジュニアユース(U-16)日本代表チームの海外遠征選手団(男女各十八人)のメンバーに、本県から六人の町出身の選手が選抜されました。選ばれたのは、不來方高の高橋亮選手(下鴨沢、一年)と、沼宮内高の太田代敦年)と、遠藤芽衣選手(上浮島、一年)、選手(御堂、同)、引木智徳選手(日の神子、一年)、佐藤優選手(大渡、二年)、藤本守選手(下黒内、一年)、遠藤芽衣選手(下黒内、一年)の男子五人と女子一人の計六人。六人は一月三十日、ジュニアユース日本代表チーム入

りの報告と、同チームの海外遠征の出発に先立つ表敬を兼ね、役場に民部田幾夫町長を訪問。民部田町長が「それぞれに実りある有意義な遠征になることを心から期待します」と激励すると、選手たちは一人一人、遠征にかける抱負を力強く述べ、活躍を誓いました。六人はその後、男子は二月十四日から十七日まで韓国に、女子は同月十四日から十八日まで香港にそれぞれ滞在し、現地のU-16チームと対戦するなど、貴重な実戦経験を蓄積しました。



県の「元気なコミュニティ百選」に認定された「おっぽ小学校」など3団体が認定

地 域活性化に自主的に取り組む団体などを選定し地域づくり活動を促進しようと県が進める「元気なコミュニティ百選」に当町から3団体が選ばれ2月9日、岩手広域交流センター・プラザあいで開催された「いわてまち公民館まつり」開会式の席上で、県から認定証の交付が行われました。選ばれたのは、①東部地区で「ふくろう」をテーマに創作活動や情報発信を行う「ふるさと創作サークル・おっぽ小学校」、②豊富なアイデアで多彩なイベントを展開し商店街活性化に取り組む「大町商店会・大町ウェーブ」、③町の魅力を再発見・紹介し積極的にPR活動を行う「町観光ボランティアガイドの会・いわて町探検隊」の3団体です。今後、各団体の活動と地域の活性化が大いに期待されます。



U-16に選ばれた（左から）遠藤芽衣選手、藤本守選手、佐藤優選手、引木智徳選手、太田代敦選手、高橋亮選手

トピックス 「未来への飛躍」

(4)

広報「いわてまち」が2部門で

広報紙の部
組み写真の部

第1位

入賞した「いわてまち議会だより」第178号



認められたこの町のカタチ

白

治体の優れた広報紙などを表彰する平成十九

年度県市町村広報コンクール（県広報協議会など主催）は

一月十八日、盛岡市の県自治

会館で審査が行われ、厳正な

審査の結果

広報紙の部

では、平成十九年十一月号（No.

581）掲載の「この町の力

カタチ 豊かな岡に花が咲く」

と題する町西北部の豊岡集落の歩みと今を紹介した特集などが、組み写真の部では、同年六月号（No.576）掲載の「第二十七回IBCホッケー大会・春の嵐吹く！激闘の5日間」と題する町勢チームの活躍を伝える組み写真が、それぞれ高く評価されました。

同コンクールは、市町村の広報技術の向上などを目的に毎年開催され、岩手日報社はじめ県内の各報道機関の関係者などにより審査が行われます。審査講評では、「特集記事の豊岡集落がこれからも小菊の花が豊かに咲き続ける岡であることを願わざにはいられない」「秀逸な特集・企画・デザイン」、「大胆な迫力ある紙面への挑戦を続けてほしい」など高い評価を頂きました。

広報紙の中身は、町の皆さん姿そのもの。この受賞は、町の皆さんを取り組みやその姿が、広く町内外に認められたことを意味するものです。

なお、当町広報紙の同コンクール入賞は、広報紙の部は第一回入賞、組み写真の部は昨年に続き三度目。組み写真の部は初入賞。両作品は、四月に開かれる日本広報協会主催の「平成二十年全国広報コンクール」に県代表として出展されます。

今後、同コンクールを通じて、町の魅力が広く国内外に周知されることが期待されます。

トピックス 「未来への飛躍」

(4)

トピックス 「未来への飛躍」

(2)

①広報紙の部で第1位に入賞した広報いわてまち 11月号（平成19年11月1日発行、No.581）と特集この町のカタチ豊かな岡に花が咲く！②組み写真の部で第1位に入賞した第29回IBCホッケー大会・春の嵐吹く！激闘の5日間。

トピックス 「未来への飛躍」

平成19年度町村議会広報全国コンクール

「いわてまち議会だより」は奨励賞に入賞

全 国の町村の優れた議会広報紙を表彰する平成19年度町村議会広報全国コンクール（主催・全国町村議会議長会）は2月22日、東京都の全国町村議員会館で審査が行われ、当町議会が平成19年5月1日付で発行した「いわてまち議会だより」178号（編集・議会広報委員会、南野孝雄委員長）が奨励賞に輝き、初入賞を果たしました。今回のコンクールでは、全国の町村から議会広報紙199作品（本県9作品）が出展。議会活動や町のいきいきとした情報が満載の当町の作品が高い評価を受けました。この受賞により、議会活動の一層の充実と、活動に対する町の皆さんの理解の深まりが今後大いに期待されます。

トピックス 「未来への飛躍」

「戸別浄化槽」のススメ

全国的に環境保全への関心が高まる中で、「水」の保全は今日、大変重要な課題の一つです。町の水道事業所は、その大切な水を保全供給する役目を担い、さまざまな事業を展開しています。今回は、平成十九年度から始まった「戸別浄化槽事業」について紹介します。

図1 「戸別浄化槽事業」の対象地区

「戸別浄化槽事業」の対象地区は、下水道整備地区（沼宮内地区中心部、川口地区の一部地域）を除く町内全域です。



※除く（下水道整備地区）

ますが、その大きな一つに、自然環境の悪化により良質の水が希少になってきたことが挙げられます。元来、水は私たちの生命維持に欠かせないもの。今日では、水はタダどころか、むしろお金を費やして積極的に保全しなければならない重要な生活物資となっています。町に数少ない自給可能な天然資源ともいえます。すなわち、水源を守ることは私たち自身の生活を守ることであり、町のみんなが協力して取り組むべき重要な課題なのです。

ますが、その大きな一つに、自然環境の悪化により良質の水が希少になってきたことが挙げられます。元来、水は私たちの生命維持に欠かせないもの。今日では、水はタダどころか、むしろお金を費やして積極的に保全しなければならない重要な生活物資となっています。町に数少ない自給可能な天然資源ともいえます。すなわち、水源を守ることは私たち自身の生活を守ることであり、町のみんなが協力して取り組むべき重要な課題なのです。

てきました。
水質の保全は、町全体で取り組まなければ効果が上がり、また、町の財源にも限りがあるた

め、人口密集地には下水道を整備し、そのほかの地域には各戸ごとに浄化槽の設置を進め、効率的に町の污水处理事業を進めようとしています。（図1参照）

め、人口密集地には下水道を整備し、そのほかの地域には各戸ごとに浄化槽の設置を進め、効率的に町の污水处理事業を進めようとしています。（図1参照）

「水はタダ」は過去の言葉

「水と安全はタダ」といわれてきた日本。しかし、その言葉は、もはや過去のものになりました。町の皆さんも日々実感しているように、

店の飲料売り場には、たくさん種類の国内外産の水が商品として並び、清涼飲料水と変わらない価格で販売されています。かつてタダといわれた水は、今ではごく当たり前に商品として消費者に受け入れられています。これにはさまざまな背景があります

重要なのは「污水処理」

水質の保全には、生活排水などの汚水処理が重要です。そのため、町の道事業所ではこれまで、下水道事業と浄化槽設置事業を進めています。

今回紹介するのは、町のほとんどの地区が対象となる「戸別浄化槽事業」です（図1、下水道整備地区は設置対象外）。浄化槽は右の写真のような巨大なタンクで、中には微生物の働きにより污水

経済性に優れる「浄化槽」

一般的な大きさの7人用の浄化槽。微生物の力で污水を分解するスグレモノだ



浄化槽が設置されるまで

普段地中に埋められ目にする機会の少ない浄化槽ですが、それはどんなもので、どのように設置されるのでしょうか。昨年11月に設置した中村光秀さん宅の設置工事の様子を紹介します。



私も、導入しました！ 江刈内の中村さん

導入しやすくなつたのがきっかけでした

汚水を浄化し環境にも優しい浄化槽に以前から興味を持っていた私は、昨年11月に戸別浄化槽の導入を決めました。従来の補助制度では、導入時の個人負担が、町の補助金を入れても約60万円必要で、年3回以上の点検などの維持管理を個人で実施、負担しなければなりませんでしたが、新たに実施された「戸別浄化槽事業」では、15万円の分担金で導入でき、月々の使用料などはかかるものの、町が浄化槽の維持管理を行うなど、導入しやすい環境が整つたことがきっかけでした。トイレは水洗化されて快適になりましたし、環境にも役立つということで、導入してよかったと思っています。私からも皆さんにおススメします。

問い合わせをお待ちしています！



町水道事業所上下水道係
戸別浄化槽事業担当
佐藤友樹 主事

町水道事業所の佐藤です。近年、全国的に環境保全への関心が高まる中、町の皆さんに生活に欠かせない「水」を保全、供給する当事業所は今、積極的に污水处理事業を進めています。平成19年度から始まった「戸別浄化槽事業」の実施にあたっては、より多くの皆さんに導入していただけるよう、利用しやすい内容の設定を心掛けました。利用料など応分の負担は、いたくのもの、水洗トイレ化による家庭の環境衛生の向上や、水質保全に優れる浄化槽のメリットは大きく、町の皆さんには、ぜひ導入を検討くださるようお勧めします。ぜひ気軽に問い合わせください。

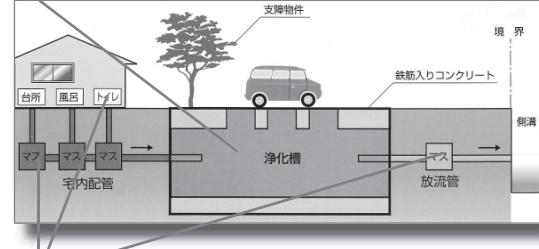
平成19年度から始まった

「戸別浄化槽事業」とは？

「戸別浄化槽事業」は、下水道整備地区以外の地区を対象に、浄化槽の導入を進める事業で、導入時に一定の分担金をいただき町が戸別に浄化槽を設置し、月々の使用料をいただきながら町が維持管理を行なう事業です。なお、導入には分担金のほかに、浄化槽から家屋、水路までの配管工事費、水洗便器の購入など各戸ごとに異なる負担費用が必要（図2参照）となりますので、詳細は水道事業所に相談、問い合わせください。

図2 戸別浄化槽導入時の工事と費用負担

分担金をいただき町が行う工事(定額) 浄化槽本体の設置工事



分担金以外に個人が費用負担して行う工事(費用は各戸ごとに異なります)
家屋、水路までの配管工事、水洗トイレの改造工事

月々の使用料

人槽区分	使用料
5～7人槽	4,800円
8～10人槽	5,300円
11人槽以上	協議の上定める額

導入時の分担金

人槽区分	分担金額
5～7人槽	150,000円
8～10人槽	200,000円
11～20人槽	350,000円



⑥周囲を埋め戻して完成。
工事日数は約7日間



⑤浄化槽から家、水路までの配管を設置し接続する



④掘った穴に浄化槽本体を設置する



③パワーショベルで深さ2㍍の大穴を掘る



②これが浄化槽の本体。7人槽の容積は4,000㍑



①庭先などに設置。必要面積は7人槽で4.5平方㍍

まちかど 写真館



町は人、人は町。このまちかどを曲がれば「町のカタチ」が見えてきます。今回は、2月16、17日に行われた人気イベント「いわて北緯40度まんぶくそばフェスタ」の会場を巡り、町の皆さんとのさまざまな表情をとらえました。

「一足先におどる」

「そばフェスタ」の人気の理由は手打ちそばのおいしさだけではありません。町内外のさまざまな団体が出演するステージ部門もその一つ。写真是、出演5分前に超満員の会場のざわめきを聞きながら会場脇の階段で待機する日本舞踊団体「岩泉徳志桜会」の皆さん。高鳴る胸が、本番より一足先におどっていました。



平成20年2月16・17日
岩手広域交流センター「プラザあい
いわて北緯40度
まんぶくそばフェスタ編



「はい、食べ終わりました！」

「そばフェスタ」の名物は「そばの早食い大会」。若い者はまだ負けないと参加した水掘地区の二人の猛者は、未だにどんどん力をかぶる若者を尻目に、まぶしいほどの笑顔で堂々と勝ち名乗りを上げました



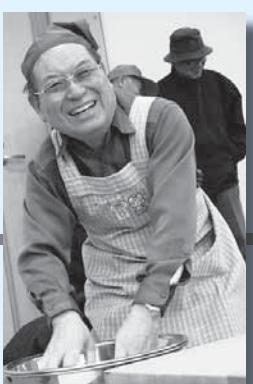
「味わい深い言葉」

プラザあいの2階に公民館活動の特設展示コーナーがありました。「へたりいい、へタがいい」という味わい深い言葉とともに町の皆さんのお手作りの作品がずらりと並んでいました



「ちょっとうるさい私たち」

そばどころでもある岩手町の住民はそばにはかなりのうるさく、食べるからにはそのおいしさの理由を追及せざるにはいられません。この二人の女性は二種類のそばを食べ比べ、ダシの違いを見事に判別しました



「奥深きかな、そば打ち道」

「なかなかね、思ひようにはね、いや~、奥が深いね」と話し額に汗する「そば打ち体験コーナー」のお父さん。愛する妻への土産にと愛情込めてそばを打ちました



「注がれる熱視線」

これも名物の「そば打ち実演」。名人をぐるり取り囲む観客がその秘技に熱い視線を注ぎます。中には熱心にメモを取る人も。先ほどの二人も最前列に陣取りおいしさの秘密の追求に余念がありません

町税やその他公金の

問い合わせ先 岩手町役場税務会計課課税資産係 ☎ 62-2111 内線 (525・526)

「コンビニ納付」が始まります！

平成20年4月から、町の税金やその他公金の納付書の様式が変わり、全国の主なコンビニエンスストアや東北管内の「ゆうちょ銀行」でも納付できるようになります。もちろん従来の納付場所も利用でき、手数料はかかりません。

◎納付できるコンビニ

※太字は町内にあるコンビニ

サンクス	ローソン		
サークルK	セブン・イレブン	デイリーヤマザキ	ファミリーマート
ミニストップ	ヤマザキデイリーストア		
エーエム・ピーエム	エブリワン	ココストア	コミュニティ・ストア
スリーエフ	セーブオン	ボーラグループ	

◎納付できる公金

税 金	固定資産税、町県民税、国民健康保険税、軽自動車税
その他公金	水道料、下水道使用料、戸別浄化槽使用料、保育料、家賃（町営住宅）、給食費、後期高齢者医療保険料

◎利用できる「ゆうちょ銀行」（旧郵便局）

東北6県（岩手県、青森県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）の「ゆうちょ銀行」で利用できます。

◎新しい納付書での納付について

- 新しい納付書は納期別に一枚一枚になっています。（ホチキスなどでとめるとコンビニでは納付できません。）
- 納期の取り違えがないよう、納付書に記載されている期別と納期限をよく確かめ、必要な納付書だけを納付場所に持参してください。
- 納付したかどうか忘れないよう、領収書は大切に保管してください。

◎こんな場合はコンビニで納付できません

（従来の納收機関や金融機関、ゆうちょ銀行などでは納付できます）

- 平成19年度以前の納付書や再発行納付書
- 破損や汚損などでバーコードを読み取れない納付書
- 金額を訂正したり書き足したりしたもの
- 納付書記載の金額が30万円を超える場合（この場合、納付書にバーコードは印字されていません。他の金融機関やゆうちょ銀行などでこれまでどおり納付できます。）
- 納期限を過ぎたもの

●新しい納入通知書の見本

【町税】※軽自動車税は別様式



4月から
税金の納付が
便利になります！

【水道料金・下水道料金】



◆主な変更点
ゆうちょ銀行口座
バーコード

※なお、写真是見本であり今後若干の修正が施される場合があります。

不動産登記簿の「小字」が平成20年4月1日から廃止されます

平成20年4月1日から町内を対象に、不動産登記簿の所在、住所の表示が統一され、不動産登記簿に記載されている土地表示の「小字」が廃止されますので、不動産登記の手続きなどを行う際は、注意して下さい。

問い合わせ先 岩手町役場税務会計課課税資産係 ☎ 62-2111 内線 (525・524)

いつか
どこかで



田中 愛結美さん（久保小5年）

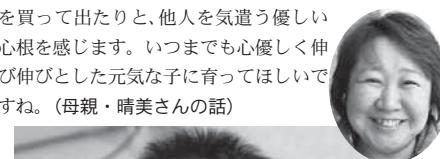
憧れの先輩のように

将来は「ホッケーの日本代表選手になるのが夢です！」と張り切る愛結美さんは、5年生で唯一の女の子。久保ホッケースポーツ少年団に所属し、昨年8月の全国大会では、仲間とともに全国優勝という無上の喜びを分かち合いました。4月からは、キャブテンとして後輩たちをリードし、よき伝統を受け継いでいく立場になった愛結美さん。「間もなく卒業する憧れの先輩たちのように活躍したい」と、持ち前のチャレンジ精神をにじませます。「一つ一つの試合を大切に」と気持ちを引き締めながら、しっかりと前を見据えます。



誠一さん・晴美さん夫妻の長男・上苗代沢
稲村 圭太くん（2歳6ヶ月）

ブロック遊びと絵本が大好きな子で、凡て面的な性格なのか、きちんと形が整うまで何度もブロックを組み立て直します。最近は、言葉がとても上手になりました。家では、保育園で覚えた歌を家族に披露したり、肩もみを買って出たりと、他人を気遣う優しい心根を感じます。いつまでも心優しく伸び伸びとした元気な子に育ってほしいですね。（母親・晴美さんの話）



おじいちゃんたちはあちゃんが大好き。という圭太くんとおばあちゃんが大好き。野菜もたくさん食べれます

布団も心もほっかほか

民部田 郁子さん（78歳）、柳橋

「手作りの布団はね、とってもあったかいんですよ」と話す郁子さんは布団作りの名人です。若いころ生活を支えるために努力して布団作りを学び、寝具技能士の資格を取得。約50年にわたり夫の太郎さん（86歳）や家族と布団店を営んできました。結婚や就職などの人生の節目に買い物が多い布団。お客様の思いに応えようと、いつも真心込めて手作りし、多くの人に喜ばれてきました。「自分が作った布団は、何年たってもすぐに分かります。長年大切に使ってくださるお客様から、元のように直してほしいと頼まれるたびに、この仕事をきてよかったです」と微笑みます。



思い出いっぱいの寝具技能士のバッジは郁子さんの宝物です

毎年人気の「そばフェスタ」 名物そばを求める四千五百人

もちが振る舞われたほか、ステージでは中川愛子さん一行をはじめ町内外の団体が、民謡や太鼓、日本舞踊などを披露したり、そば打ち

町内外のおいしい手打ちそばが一堂に集まる人気の「いわて北緯四十度まんぶくそばフェスタ」が二月十六、十七日の両日、岩手広域交流センター・プラザあいだ開かれました。当日は、はじめ八幡平市、盛岡市、葛町内八幡平市、盛岡市、葛はじめ八幡平市、盛岡市、葛

卷町を代表する名物のそば屋台六台が出店。一杯三百円という安さで各地で人気の手打ちそばが食べられるとあって、開店前から大勢の人気が詰め掛けました。また、今回も同施設に隣接するいわて沼宮内駅の開業五周年を記念してつきたての

本町出身の柴田彩千子さん「ゆはず成人大学」の講師に多様化する社会について考え充実した生き方を学ぶ「ゆはず成人大学」（全五回、町中央公民館主催）は一月十六日、第四回講義「岩手町生まれ育った町での講義とあって嬉しそうな表情で親しみを込めて話す柴田講師から首都圏への発信「岩手町地域づくりの提言」をゆはず交流館で開催しました。当日は、町内各地から向学心にあふれる二十二人の受講生が参加。講師には、帝京大学専任講師で下大町出身の柴田彩千子さんを迎えた。柴田さんは「今大切なことは、自分たちが住んでいる地域のよさを改めて知ること」「地域づくり」とは、行政では補うことができない隙間を埋めることがあり、そこには豊かなものが生まれられる多くの可能性が秘められています」と話し受講生は、まちづくりへの関心と意識を深めました。



みんなのたまご

皆さんができる楽しいスペースです。あなたもぜひ登場を。町政や町民生活に関して、言いたいこと、聞きたすことなど、あなたの声やあなたの地域・職場での話題をお寄せください。投稿と問い合わせは役場企画商工課広報情報係内線216まで。



平成19年度
ゆはず成人大学

豊かな農村づくりシンポ開催

**豊かな農村づくり学ぶ
深まる理解高まる意欲**

町豊かな農村づくりシンポジウムは二月十三日、町などの主催で岩手広域交流センター・プラザにおいて開催されました。当日は、町内の生産者や関係者など約百七十人が参加。席上では、町産業まつり農林産物共進会十一部門（入賞者數百二十四人）の表彰が行われたほか、「耕畜連携」を進める町農業者協議会の事例発表や市場関係者などによる講演も行われ、参加者たちは、農村づくりへの理解を深め、意欲を一層高めました。



中国式の新年会で国際交流を



**心身ともに満たされる
ユニークな国際交流会**

母國の名物料理などの紹介を通じて互いの親交を深めようとNPO法人町国際交流協会（坂井博毅会長）は二月十日、中国式新年会「春節運動会」を開催しました。当日は、同協会員や町内在住の中国はじめ外国出身者など四十人が参加。慶事に用いる真紅の灯籠が飾られた会場には、手作りのギヨーザなど本場仕込みの中華料理がずらりと並び、心身ともに満たされながら、有意義なひとときを過ごしました。

スポーツ

健康体力つくり推進宣言のまち 岩手町

第35回町少年剣道交流大会
これぞまさしく真剣勝負！

第35回町少年剣道交流大会（主催・町体育協会ほか）は2月3日、町体育馆で開催されました。当日は、町内をはじめ近隣市町村から小中学生剣士たちや応援する家族、関係者など約500人が参加。冬の寒さを吹き飛ばす熱気と大声援の中、精銳ぞろいの男女46チームが、日ごろの鍛錬の成果を発揮してするどい技と気合を応酬。「真剣勝負」の名にふさわしい名勝負を展開しました。昼食では、大会名物の地元育成会手作りの豚汁が振る舞われ、参加者から大好評を博しました。なお、大会の結果は、次のとおりです。

◇少年団新団員の部 ①不動会（盛岡市）②飯岡研心剣道スポーツ（盛岡市）③沼宮内剣道スポーツ（岩手町）、八幡平市剣道スポーツ（二戸市）④少年団の部 ①二戸剣道スポーツ（二戸市）②滝沢村剣道スポーツ（滝沢村）③飯岡研心剣道スポーツB、沼宮内剣道スポーツB ◇中学生の部

△男子 ①滝沢A（滝沢村）②厨川A（同）③福岡A（二戸市）、沼宮内A（岩手町） △女子 ①飯岡研心剣道スポーツB②黒石野（盛岡市）③滝沢、厨川



①じっくり間合いをつめ鋭い一撃を打ち込む沼宮内中の選手②戦いを終えほっと一息つく沼宮内スポーツの選手たち③来場者を歓迎しようと地元スポーツ育成会などが20年以上続けている名物の「豚汁」の振る舞い。今回は約500食が提供され選手たちの心と体を暖めました

新・いわてまち公民館まつり

**体験型にリニューアル
魅力アップで大盛況！**

町の皆さんのが日ごろの公民館事業などで学んだ成果を発表する町公民館まつりは二月十日、岩手広域交流センター・プラザにおいて開かれました。公民館活動の多彩さと楽しさを広く知つてもらおうと、今回はこれまでの発表を中心とした内容から、各公民館を代表する人気講座などが楽しめる体験を中心とした内容に大きくリニューアル。当日は、町内外から約三百人が参加し、各館の特色あふれる看板事業の楽しさを味わいました。



教育を高めて進むまちづくり



地域ぐるみの教育振興

学校と家庭、地域が日ごろ連携して取り組む町の教育振興運動の成果を発表し合う「平成十九年度教育を高めて進む町づくり大会」は、一月二十七日、町総合開発センターで開かれました。当日は、町内の四実践区を代表する児童生徒や父母、関係者など約二百五十人が参加。発表では、岩瀬張小の全校児童（十一人）が長文の暗唱を元気良く披露するなど、小規模校の充実した取り組みが光り、満席の会場をうならせました。

第10回インドアホッケー大会
冬の寒さを吹き飛ばす大熱戦

第10回インドアホッケー大会（主催・町学校体育連盟）は1月26日、町体育馆で開催されました。当日は町内3中学校から男子6、女子4の10チームが参加。会場では、冬の寒さも吹き飛ばす大熱戦が展開されました。なお、大会の結果は次のとおりです。（第3位まで）

◇男子 ①一方井B②一方井A③沼宮内A、川口A ◇女子 ①沼宮内A②沼宮内B③一方井A、一方井C

◆お婿さん、お嫁さん◆4組(6組)

◆1月

日	お名前	世帯主	行政区
10	家村 勇樹 菅原 眩美	定 博 善 菲花	上 大町 巻 市
22	三浦 豪 金石 明美	繁 男 清次郎	太 田町
25	欠畠 明英 細野 利香	下苗代沢 志 岩瀬	一 戸張
28	幅 一也 佐藤 早苗	清 良	日の神子 渡

◆生まれたお子さん◆11人(11人)

◆1月

日	お名前	保護者	行政区
4	辰田 糖花 穂花	駿 介	下 町
6	小田島琉哉 隆	生 下苗代	二 沢
6	松浦 瑛也 琥也	智 也	上 浮 島
8	柴田 恵吹 易	華 上	五 日市
10	大村 祐乃 祈乃	利 万	部
13	田村 優奈 莉奈	和 義	橋 場
13	田村 莉莉 莉莉	和 義	橋 場
15	笛渡 真希 真希	政 栄	日の神子
16	下村 達斗 達斗	幸 一	横 田
18	高橋 隼 隼	勝 美	橋 場
20	佐藤健太朗 健太朗	亘 横	田

◆亡くなられた方◆23人(24人)

◆12月

日 お名前(年齢) 世帯主 行政区

25 後藤 キヌ(83) 本人 館

◆1月

1	高橋 タマ(83)	和 子	野 原
3	佐藤 ツル(81)	弘 幸	境 田
4	千葉 孝(83)	敦 子	境 田
5	中居 ハツ(90)	當 男	館
7	佐藤 菊松(85)	忠 一	境 田
7	朽木 重作(87)	本 人	朽木 林
8	瀬川 君(88)	夕 工	上 町
8	佐々木サメ(87)	勉 水	堀
9	留場 信男(67)	芳 夫	細 沢
11	斎藤 節三(79)	久 夫	下 大 町
14	工藤 榮(82)	始 高	梨
15	雲足 與八(82)	武 夫	山 道
19	滝川 トミ(80)	忠 雄	秋 浦
19	中井 フミ(85)	恒 夫	膝 突
22	佐藤 正治(88)	イ	ソ 駅 通
23	遠山政太郎(88)	本 人	水 堀
23	柿 弘子(71)	留 吉	城 山
23	三浦徳右衛門(83)	勝 横	田 岡
24	田村仁太郎(82)	勝 男	黒 石
25	田中 禮子(88)	勤 健	土 川
26	笛渡 ミサ(78)	清 城	山
28	田村マサミ(71)	武 則	下 浮 島

◆人口の動き(20.1.31現在)

男 女 計

8,060人 8,282人 16,342人

(△2人) (△10人) (△12人)

5,348世帯(1世帯)

出生・11人 死亡・24人

転入・25人 転出・24人

() 内は前月比

サポート盛岡では
若者の就業を応援

盛岡地域若者サポートステーション(サポート盛岡)では、35歳くらいまでの仕事に就いていない人などの相談に応じています。【3月の相談】毎週月、水、金曜日【受付時間】午前9時～午後4時【その他】臨床心理士によるカウンセリングも行っています。この場合あらかじめ登録が必要です。【問い合わせ先】盛岡地域若者サポートステーション(〒020-0023盛岡市内丸11-2県公会堂16号室)☎ 019-625-8460

旅券申請交付の手
続きは役場町民課

県の権限委譲の一つとして昨年4月1日から、役場で旅券(バスポート)の申請や交付を行っています。

【受付場所】役場町民課①番窓口

【取り扱い日】月曜日から金曜日まで(土、日、祝祭日、年末年始など役場閉鎖日を除きます)

【申請受付時間】午前9時から午後4時30分まで

【旅券交付時間】午前9時から午後5時15分まで。なお、新たに申請した場合は交付まで8日間かかります。

【申請・交付ができる人】岩手町に住民登録している人。または、学生や単身赴任などで岩手県外に住民登録していて、岩手町に住むがある人(居所申請)。なお、岩手町に住民登録している人は、県パスポートセンターで手続きができなくなります。

【問い合わせ先】役場町民課戸籍住民係☎ 62-2111内線503、506、507

新規高卒者採用の
事業主に奨励金を

町では、今年3月以降に高校卒業の人を雇用した町内の事業主になりません。

就職支援奨励金を交付します。

【内容】新規高卒者を正社員として6月以上雇用した場合、1人につき20万円を交付

【対象事業主の条件】①雇用保険適用の事業主であること②公共職業安定所または高等学校へ求人の申し込みをしていること③町税を滞納していないこと

【雇用対象者の条件】卒業した日から翌年3月31日までの間に町内の事業所に雇用され、町内に住所があり次の条件に該当する人。
①県立沼宮内高校を卒業した人
②町内の中学校から町外の高等学校に進学し当該高校を卒業した者

なお、事業主や事業所の取締役などの2親等以内の親族は対象になりません。

【申請期限】第1回申請期限:4月30日(水)。その後は随時受付

【申請と問い合わせ先】役場企画商工課商工観光係☎ 62-2111内線213

石神の丘美術館 今月のみどころ!

第9回 発掘された岩手町の遺跡展

—20年の歩み展—

2008年3月15日(土)～4月13日(日)
休館日:3/17(月)、24(月)、31(月)

観覧無料



4月からの開館時間と休館日

石神の丘美術館は4月から11月までは夏時間での開館となります。

【4月～11月の開館時間】

午前9時から午後5時まで

入館は午後4時30分まで

【4月～11月の休館日】

休館日はありません。ただし、企画展示室は展示替え期間お休みとなります。

このコーナーへの問い合わせ…
石神の丘美術館☎ 62-1453

★記念講演会★ 3月16日(日)午後1時30分から 聴講無料
「世界遺産に向けて—奥州藤原氏と平泉文化」

金野静一氏(元岩手県立博物館長)

★土器の拓本教室★ 3月22日(土)、23日(日)午後1時30分から
土器の破片の縄目文様を紙に写し取ります 参加無料 30人程度

町民カレンダー

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、回覧や広報などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

3月

日(曜)	時間	行事名	場所
1(土)	10:00～	沼宮内高校卒業式	沼宮内高
8(土)	13:30～	幼児教育講演会(内容:岩手町の民話を学ぶ。9日まで) ゆはづ交流館	
10(月)	10:00～11:30	高齢者健康・介護相談	水郷いきがい交流センター
	10:30～	糸操り人形結城座公演	北山形小
12(水)	12:45～	1歳6ヶ月児健康診査(平成18年7月10日)	保健センター (日～9月12日生まれ)
13(木)	10:00～	まんまと湯っこの会	老人福祉センター
14(金)	10:00～	中学校卒業式(川口中、一方井中)	各中学校
15(土)	9:00～	発掘された岩手町の遺跡展(4月13日まで)	石神の丘美術館
	9:30～	沼宮内中学校卒業式	沼宮内中
17(月)	10:00～	東部中学校卒業式	東部中
18(火)	10:00～	小学校卒業式(南山形小、浮島小)	各小学校
19(水)	10:00～	小学校卒業式(沼宮内小、川口小、北山形小)	各小学校
20(木)	9:00～12:00	人権・行政・消費者相談	勤労青少年ホーム
25(火)	12:45～	6ヶ月児健康診査(平成19年9月生まれ)	保健センター
	12:45～	1歳児健康診査(平成19年3月生まれ) ※乳幼児の検診を希望する人はどなたでもおいでください。	
26(水)	10:00～16:00	社会保険事務相談	町商工会館

4月

日(曜)	時間	行事名	場所
9(水)	12:45～	3歳6ヶ月児健康診査(平成16年8月9日)	保健センター (日～10月9日生まれ)
10(木)	10:00～11:30	高齢者健康・介護相談	水郷いきがい交流センター

3月の休日当番医

変更になる場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

日曜	当番医	電話番号	日曜	当番医	電話番号
2(日)	県立沼宮内病院	62-2511	23(日)	佐渡医院	62-3211
9(日)	佐々木医院	62-2234	30(日)	塙谷医院	62-1155
16(日)	坂井医院	62-5111	16(日)	さわやかクリニック	62-2043
20(木)	岩手沼宮内クリニック	61-2025	6(日)	さわやかクリニック	62-2043

県立沼宮内病院 3月の応援診療科

診療科	診療日	受付時間	診療科	診療日	受付時間
脳神経外科	11、25日	8:30～11:00	皮膚科	毎週火曜日	13:00～15:30
循環器科	19日	13:00～16:00	耳鼻咽喉科	5、19日	13:00～16:00
小児科	毎週月・金曜日	13:00～16:00			

※医師の都合により予定を変更する場合がありますので、事前に問い合わせください。
(県立沼宮内病院☎ 62-2511)

お知らせ

役場 62-2111

3月

募集しています

高校や大学進学に 町の育英資金制度

町では、高校や大学などに進学する人で、経済的に困っている人に育英資金を貸し付けます。

【募集人員】3人程度（応募者が多数の場合、審査で決定します）

【申込期限】3月14日（金）

【貸付金額】高校・各種学校は月額2万円以内、大学・短大は月額3万円以内

【利子】無利子

【返済】高校や大学を卒業後1年間据え置き、その後8年間で返済

【申し込みと問い合わせ先】役場
学校教育課学校教育係 62-2111
内線353

農業の知識を学ぶ いわて農業入門塾

県立農業大学校では、農業の知識や農作物の栽培方法を学び、将来の就農に役立てるための「いわて農業入門塾」第12期生を募集します。

【場所】県立農業大学校

【期間】5月3日（土）～10月18日（土）

【開講日】毎週土曜日

【講習内容】野菜に関する講義（5回程度）や栽培実習（25回）など

【必要経費】10,000円（教材費、障害保険料）

【募集定員】50人

【募集期間】3月10日（月）～4月7日（月）

【問い合わせ先】県立農業大学校
研究科（〒029-4501金ヶ崎町六
原蟹子沢14） 62-2107-43-2107

国家公務員Ⅰ種と Ⅱ種の採用試験！

人事院は、国家公務員Ⅰ・Ⅱ種の採用試験を行います。

試験の日程などは、次のとおりです。

区分	受付期間	第1次試験日
I種 (大学卒業程度)	4月1日(火) ～8日(火)	5月4日(日)
II種 (大学卒業程度)	4月11日(金) ～22日(火)	6月22日(日)

【問い合わせ先】人事院東北事務局第二課試験係（〒980-0014宮城県仙台市青葉区本町3-2-23）

62-221-2022 人事院ホームページ <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

優良運転者などの 表彰にぜひ申請を

県交通安全協会北岩手支部では、優良運転者などの表彰を行います。表彰を受けるためには、申請が必要です。表彰の基準を満たす人は、ぜひ申請してください。

【表彰基準】県交通安全協会の会員で10年以上の運転経験を持ち、過去5年内に交通関係法令の違反をしていない人。ただし、ほかにも要件がありますので、詳しくは問い合わせください。

【申請期限】3月31日（月）

【問い合わせ先】町交通安全協会事務局（役場総務課地域安全係内）
62-2111 内線208

東北地区国立大学 学校法人等の職員

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会は、東北地区的国立大学法人などの事務系、技術系職員の採用試験を行います。

【願書受付期間】4月1日(火)
～4月10日(木)

【第1次試験日】5月18日(日)

【試験地】盛岡市・弘前市・仙台市・秋田市・山形市・福島市

【問い合わせ先】東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会

採用試験事務室（〒980-8577宮城県仙台市青葉区片平2-1-1東北大學本部内）
62-217-5676 ホームページ <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

総務省の電気通信 サービスモニター

総務省では、電気通信サービスモニターを募集しています。

【応募資格】電話やインターネットなどの電気通信サービスに関心のある満20歳以上の人

【活動内容】アンケートの回答やモニターミーティングへの出席など

【委嘱期間】6月1日から平成21年3月31日までの1年間

【募集人員】120人

【応募締め切り】4月4日（金）

【応募方法】○はがきの場合 表面にあて先の脇に①「モニター希望」と明記の上、裏面に②郵便番号、③住所、④氏名（フリガナ）、⑤電話番号、⑥年齢、⑦性別、⑧職業、⑨メールアドレス（任意。携帯電話のメールアドレスを除く）、⑩応募の動機、⑪モニターミーティング参加希望の有無を記入して送ってください。

○FAXの場合 FAX送信用紙に上記の①から⑪までの事柄を記入し送ってください。※はがきとFAX以外での応募は受け付けません。

【応募と問い合わせ先】総務省東北総合通信局電気通信事業課（〒980-8795宮城県仙台市青葉区本町3-2-23）
62-221-0628 FAX 62-221-0613

行われます

就職活動に役立つ 知識学ぶセミナー

（社）県雇用開発協会では、職業生活設計セミナーを開催します。

【内容と日時】

日時	内 容
3月4日（火） 午後1時30分～	社会保険制度の仕組みと手続き
3月7日（金） 午後1時～	知っておきたいマナーの基本
3月7日（金） 午後3時10分～	交流会
3月15日（土） 午後1時30分～	知っておきたい法律知識
3月21日（金） 午後1時30分～	時代の変化に対応する就業への取組
3月28日（金） 午後1時30分～	履歴書と職務経験書の書き方について

【場所】岩手高齢期雇用就業支援コーナーセミナー室

【定員】先着各20人（定員になり次第締め切ります）

【受講料】無料

【申し込み方法】直接窓口に、またはFAXで申し込みください。初めての場合は、セミナーの説明などを行いますので、説明を受けてから申し込みください。

【申し込みと問い合わせ先】（社）県雇用開発協会・岩手高齢期雇用就業支援コーナー（〒020-0024盛岡市菜園1-12-18盛岡菜園センタービル3階）
62-2109-1130

岩銀中の橋支店で 布絵約30点を展示

県高齢者福祉生活協同組合では、「第8回おばあちゃんの夢布絵展」を開催します。

【期日】3月10日（月）から19日

（水）まで（土、日曜を除く）

【時間】午前9時～午後3時

【場所】岩手銀行中の橋支店ギャラリー

【内容】同組合主催の布絵教室参加者の作品約30点を展示

【入場】無料

【問い合わせ先】県高齢者福祉生活協同組合（〒020-0822盛岡市茶畑2-21-15）
62-2109-5830

その他

3月1日～7日は 春の火災予防運動

3月1日から日まで「火は見てるあなたが離れるその時を」を防火標語に、春の火災予防運動が全国一斉に行われます。火の取り扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。なお、消防署では、消化訓練や救命講習などを実行します。気軽に問い合わせください。

【問い合わせ先】盛岡中央消防署
岩手分署 62-2109

し尿処理手数料が 10%当たり55円に

町と八幡平市、葛巻町、盛岡市玉山区で構成する盛岡北部行政事務組合では、し尿処理手数料（くみ取り料金）を4月1日から10%当たり55円から55円に改めます。この手数料は平成10年度から据え置いてきましたが、くみ取り量の減少や原油高などで処理費用が増加し現行の額を維持することが難しくなったことで改定を行うものであります。なお、300kg未満のし尿処理手数料は従来どおり1,600円です。

【問い合わせ先】盛岡北部行政事務組合施設班（〒028-7405八幡平市平館27-49）
74-2716または町水道事業所上下水道係 62-2111
内線335

ヤング散步／224回

高村 明百未さん（20歳）



今、仕事に夢中なんです！

「仕事も趣味も充実の毎日です。夢中にならざら止まらない性格なんですよ」と話す明日未さんは、八幡平市の「県民の森」で働いています。八幡平の大自然に引かれ県内外から集まるお客様を出迎え、案内をしたりイベントを企画したりします。この仕事を選ぶのに特に理由はなかったという明日未さん。山歩きが好きな父親の影響もあってか、たちまち八幡平の自然に夢中になりました。「お客様からふるさとの自然をほめられると、とてもうれしいです。当面の目標は、仕事に役立つさまざまな資格を取ること。好奇心旺盛と一緒に楽しめる人が理想の男性です」と明るく話し、近頃夢中になっているダーツの的に狙いを定めます。

プロフィール 平成18年3月に県立盛岡農業高を卒業。同年11月に県民の森森林ふれあい学習館フォレストアイに就職、イベント企画などを担当。血液B型、ふたご座。（上五日市）

ふるさと
岩手町紀行

— 第23回 —

通(コラ) とは物事をよく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。



役者ぞろいの久保小児童

岩手の牛乳飲んで試合に勝つぞ！
町の立役者たちはCMでも大活躍町立久保小学校
さいとう ひであき
斎藤 英明 校長

「教員生活最後の年に、こんな素晴らしい子どもたちや地区の皆さんにめり合えて本当に幸せだと思っています」と斎藤校長

「岩手の牛乳飲んで試合に勝つぞ！」と氣勢を上げるのは久保小の児童たち。同小児童らが構成する久保ホッケースポーツ少年団は、昨年八月の全国大会では、女子が全国優勝、男子が第三位に入賞するなど「ホッケーのまち・岩手町」の立役者として大活躍し、全国にその名を轟かせました。この日は、その偉業と元気のよさを買われ、岩手の牛乳をPRするJA全農いわてのCMに出演。またも役者ぶりを發揮し、NGなしで撮影を終え、同CMの収録時間の最短記録を更新しました。そんな姿をいつも温かく見守る同小の斎藤英明校長は「いつも元気で明るく、素直で辛抱強いこの子たちは、子どもが本来持つ力を出し切れる実に子どもらしい子たち。今後の成長が本当に楽しみです」と目を細めます。同CMは、二月十日から三月七日まで岩手めんこいテレビで放映されます。

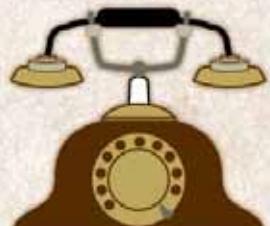
「岩手の牛乳飲んで試合に勝つぞ！」と氣勢を上げるのは久保小の児童たち。同小児童らが構成する久保ホッケースポーツ少年団は、昨年八月の全国大会では、女子が全国優勝、男子が第三位に入賞するなど「ホッケーのまち・岩手町」の立役者として大活躍し、全国にその名を轟かせました。この日は、その偉業と元気のよさを買われ、岩手の牛乳をPRするJA全農いわてのCMに出演。またも役者ぶりを發揮し、NGなしで撮影を終え、同CMの収録時間の最短記録を更新しました。そんな姿をいつも温かく見守る同小の斎藤英明校長は「いつも元気で明るく、素直で辛抱強いこの子たちは、子どもが本来持つ力を出し切れる実に子どもらしい子たち。今後の成長が本当に楽しみです」と目を細めます。同CMは、二月十日から三月七日まで岩手めんこいテレビで放映されます。



編集後記

町の皆さんこんにちは。いつも快く取材に協力していた方ありがとうございます。さて、今月号は、この町に住むすべての人にとって、この上ない喜ばしい話題ばかりがあふれる素晴らしい内容の号となりました。これはまさしく、町の皆さんのが未来に向かって挑戦を重ね、この町をひたむきに創り続けてきた成果の表れ以外の何ものでもありません。そして、その姿を描いた広報「いわてまち」が、県市町村広報コンクールで輝かしい結果を収めたことは、「この町力タチ」が、万人の共感に値する確かな価値を持つことの何よりの証だともいえます。そんな町の皆さんと、広報紙制作を通じてまちづくりをともにできる喜びと誇りを胸にしながら、「広報いわてまち」は、これからも頑張り続けます。（志田）

こちらテスクです



62-2111（内線）216